

六月・七月の行事	親子球技大会 6月15日(日) 掬水小学校体育館
	掬水自主防犯パトロール8周年出発式 6月18日(水)8:50~9:30 第三銀行掬田支店駐車場
	じゃがいも収穫祭 6月28日(土)13:00~ *雨天の場合は6月29日(日)に延期 JA 清水倉庫
	掬水夏まつり 7月26日(土)17:30~ 掬水小学校運動場



部、体育委員の方々、各種目に出場・参加した選手の皆様さん、そして大きな声援を送ってくれた多くの町民の皆様さん。お蔭で笑顔が溢れた、楽しい体育祭となりました。

5月18日(日)突き抜ける青空の下、掬水小学校運動場で市民体育祭が開催されました。微笑ましい乳幼児の旗取りから始まり、スプーンレース・玉入れ・パン食い競争・宝つり等、全ての世代が参加できる競技ばかりで、皆で楽しめる体育祭となりました。又、松阪しよんがい音頭では

晴天の下盛大に開催!!



平成26年5月30日
掬水まちづくり協議会
95号



地元の有志の方々や唄と太鼓で盛り上げ、小学生全員と地域の皆さんで踊っている姿に、伝統芸能が脈々と継がれている様子が感じられ、市民体育祭ならではのプログラムでした。

地区対抗4種目競技では、各地区の応援と共に白熱する競技の中、アクシデントによる笑いもあり、大変盛り上がった競技となりました。接戦の結果、見事予選・決勝を制し優勝したチームは山添チーム、二位はみどり苑チーム、三位は山桑チームでした。



親子ふれあい
スポーツ教室

5月10日(土)、掬水小学校運動場で教育文化部主催の親子ふれあいスポーツ教室が参加者23名で開催されました。

村居忠一さんの御指導の下、親子(孫)のふれあいを通じて楽しく、しかも短時間にも関わらず確実に変化する子ども達の姿に感心させられました。

手を叩いて動く事でリズム感を養い、低ハードルを使つての走りは、身体の中の部分をどの様に動かせばより速く走れるかが自然に身につく運動となつていて、子ども達も自分自身の変化にとっても喜んでいました。一緒に参加されたお母さん方からも「普段なかなか一緒に運動する機会が無いので良かった。」という感想が聞かれました。



どんな実がなるの!?

老人会では、幼稚園のスペースを利用して、園児達のために花壇に花を植えたりプランターに色々な野菜を作っています。先日は暑い中、瓢箪のネットを取り付けて下さいました。夏が来る頃にはりっぴなグリーンカーテンが出来ているでしょう幼稚園のみんなも、どんな実をつけるか楽しみにしています。



四国八十八ヶ所霊場
歩き遍路物語(三十五)

豊原町 岩塚 章

山歩きから

又瀬戸内海の見える街へ

地元の皆さんから、「小松尾さん」と親しみ深く呼ばれている六十七番の大興寺山門を入ると、弘法大師がお手植の大楠が迎えてくれる。本堂には赤く太い七日ローソクが清らかな灯りで本堂を照らしている。この四国遍路、ささやかなお願いあり。

その太いローソクにマジックで願い事を書いて千円で供えた。そのローソクが灯され赤々と輝いていた。感謝と合掌で次ぎの街、観音寺市に向う。

香川県に入ると農地用の溜池が大小点在している。池の幾つかを見ながら午後の道を急ぐ。この観音寺市には同じ境内に六十八番の神恵院と、六十九番の観音寺の二寺が建立されている。一度に二寺お参りすることが出来る。勿論納経所も一ヶ所でお参り印を頂くことが出来た。お参りが終わった頃には、もう五時を少々過ぎていた。民宿を早朝出発、九〇〇米のお山に登り、下り、下って大興寺へ、観音寺市へ。この二寺まで二十五キロの行程であった。

次の七十番本山寺まで四、五

キロ。五時までがお参りの時間、とうていお参り出来ない。それに体力はもう限界。四国に渡って初めてのタクシーを使うことになった。お金の力はこれほどあるものか、改めてお金のありがたさを教えられることになった。六時前に寺前の一富士旅館へ。宿に着いての日課、洗濯と入浴。ありがたさをひしひしと感じて眠りについた。

次から次へ、宿の予約にはその日の体力を加味して決める。それは「一キロでも沢山歩いて、一日でも早く結願寺である八十八番の大窪寺にお参りしたい」というのはやる気持もあるが無理をして体を痛めては先に進めない。その時の体調と相談しながら今迄来れた。いや少しは...いや随分無理な行程を組んで来たように思う。今日の行程がその結果を如実に表しているではないか。後十九ヶ寺、無理のない距離で宿を決めていこう。反省やら、やはり無理な行程を組んでしまうのかな。ひとり歩きの本を開けて夜の時、「早く眠れ」と催促されて眠る。

つづく

伊勢街道を歩いてみた(番外編)

付記 『石敢當』

市民センターからスタート地点の松阪商業高校に行く途中で、この辺りでは見慣れないものを見つけた。『石敢當』と書いてある小さな石柱である。それは、そ



の家の門の前にあった。

松井さんの説明によると、沖縄から奄美大島・鹿児島に多く見られ魔除けのために立てられているもので、家の門のところや道路の曲がり角、三叉路などに立てある。調べてみると、中国伝来の風習で、魔物はと言う訳かあまり曲がることのできず、道の角々でぶつかり、跳ね返ったりして家の中に入ってくる。家の中に入ってくるまでに退治する必要があるので、『石敢當』を門のところに作ってあるのだそうだ。魔物は、石敢當にぶつかって砕け散るのである。

伊勢街道を歩いた感想

文のつもりで書き始めましたが、纏め役としては、それなりに歴史的事実が頭に入っていないと小さなことが気になったりして、文が先に進まない。講師の松井さんに、もっとしっかりと教えていただくなりきだ。少なくとも松阪市史をかじっておくべきだった。

(反省)

浅井廣喜記

じゃがいもの収穫祭に参加しよう!

- *日 時・・・6月28日(土)午後1時～
- *集合場所・・・清水JA倉庫
- *持ち物・・・軍手、タオル、お茶、スコップ
(持ち帰りの袋は用意します)
- *参加費・・・無料
- *切 断・・・6月20日
- *お問い合わせ・・・
櫛田地区市民センター ☎28-2675

※植え付けに参加した人は、その時にもらったカードを忘れずに持ってきてくださいね。

「掃水地区の日」は
6月25日(水)
当日のみ有効 この案内と1,000円以上お買上げの方に
20ポイントプレゼント
Aコープくしだ 営業時間 10時～21時(日曜日のみ9時オープン)
夜間、昼間レジパート、アルバイト募集 畜産、農産、惣菜部門パート募集中